

教科		国語	科目	現代文B	学年	2	単位数	3
類型		文系			履修規程	必修		
学習の到達目標					使用する主な教材			
近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。					現代文B・数研出版			
期	月	配当時間	学習内容		学習の具体的内容とねらい			
第一 学期	4	7	評論「胆力について」他・小説「山月記」 ・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、人物、心情を読み取る。 ・文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。		<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を確かめ、「驚き」が知的探求を動機づけるという主張の内容を的確にとらえる。 抽象的な表現の内容を的確に説明し、筆者の着眼点のおもしろさをまとめる。 「李徴」の人柄や心情の推移を的確にとらえ、人間が虎になるという作品設定の意図について考察する。 			
			中間考査					
	6	14	評論「ホンモノのおカネの作り方」他 詩「発車」「富士」「永訣の朝」他 ・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、論理性を評価する。 ・文章を読んで、情景、心情の描写、文体修辞などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・文章を読んで批評することを通して、人間、社会について自分の考えを深め発展させる。		<ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係と、それぞれの段落の要旨を的確にとらえる。 「心」と「ことば」の働きを、文章の展開にそってそれぞれまとめ、その照応関係を的確にとらえ、論理性を評価する。 「中間社会」の現状と課題をそれぞれ箇条書きでまとめる。 カタカナ表記のもたらす表現上の効果を理解する。 熟語の意味、哲学的な語句についてその内容を理解する。 詩に描かれている情景を、語句や表現に注意して読み、「わたし」「父の心情」「わたくしのいもうとに対する心情」をそれぞれの確にとらえ、主題を読み取る。 詩中の語句に暗示されているものをとらえる。 詩の表現について、視覚的な工夫と聴覚的な工夫をとらえる。 文語表現や否定表現による効果をとらえる。 			
			期末考査					
		7	7	評論「疑似群衆の時代」他 ・文章を読んで批評することを通して、人間、社会について自分の考えを深め発展させる。 ・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにする。		<ul style="list-style-type: none"> 「映像」に関わる出来事を時間の流れに沿って整理し、それぞれに対応した群衆のあり方をとらえ、「待機する群衆」という表現に込められた筆者の意図を考察する。 「世代間関係の重視」という筆者の主張の内容をとらえ、接続可能な社会に必要なことについて考察する。 科学、技術の歴史を読み取り、「道具」としての意味合いを持った「科学」の内容を的確にとらえ、科学と社会との関わり方について自分の考えを深める。 		
	小説「三月の風」「果汁」 ・文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、人物や心情の変化を読み取る。			<ul style="list-style-type: none"> 冒頭、最後の一文の意味や、視点の異なる表現に注意して読み「父親」の「息子」に対する心情をとらえる。 視点の変化など文体の工夫による表現上の効果をとらえる。 情景描写がもたらす表現上の効果を理解する。 				
	中間考査							
第二 学期	10	13	評論「消費されるスポーツ」他 短歌と俳句 ・文章を読んで、構成、展開を的確にとらえ、その論理性を評価する。 ・文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・文章を読んで、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる。		<ul style="list-style-type: none"> 「メディア」と「スポーツ」の関係から活動の総体としての「社会」を導くという文章展開を的確にとらえ、その論理性を評価する。 文章の展開をとらえ筆者の思考の流れに目を向け、「新しいナショナルリズム」という表現に込められた筆者の意図を理解させる。 文章中の比喩表現や強調表現の内容を理解する。 接尾辞の意味と用法を的確に理解し、説明する。 三十一文字のリズムや区切れをふまえて短歌を読む。 十七文字のリズムや切れ字をふまえて俳句を読む。 作品から感じ取ることができる発想の豊かさ、構成や展開の工夫、表現の特色などをとらえ、適切な表現方法で鑑賞文を書く。 作品の表現上の工夫を理解し、感動の中心をとらえる。 			
			期末考査					
		小説「こころ」		<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心情を表現に即してとらえ、自分の考えをまとめる 				

	12	8	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ表現を味わう。 文体や修辞等表現上の特色をとらえる 	<p>中で、筆者がこの作品で描きたかったことについて考察する</p> <ul style="list-style-type: none"> 「私」と「K」の下宿において、「仕切りの襖」がどのような場面で使われ、どのような効果を上げているかなど、描写の意図を理解する。
第 三 学 期	1	8	<p>評論「虚構の知恵・ウソの効用」 「文学のふるさと」</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の展開をふまえて、筆者が述べる「虚構の知恵」と「ウソの効用」の内容と、その共通点を的確にとらえ、その論理性を評価する。 筆者の、三つの物語を挙げた意図と、「文学」の扱い方についての考えを的確にとらえ、その論理性を評価する。 外来語の意味と用法を的確に理解し、説明する。 文章中の比喩表現の内容を理解し、その効果をとらえる。
	2	9	<p>表現、広告、報告書、小論文</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品を読んで、筆者の意図を的確にとらえ、表現を味わう。 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現する。 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 広告にふさわしい文体や語句、表現の技法が使われているかどうかを考察する。 自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示す。 文章の組み立てや進行を工夫して書く。 発想の豊かさ、構成の工夫、表現の特色をとらえて、相互評価を行う。
	3	1	学年末考査	
	1		1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 生活のあらゆる場面で国語について意識する態度を確認させる。
評価の方法			定期考査、授業中に実施する小テスト、提出物で総合的に評価する	